

ありがとうございました

平成19年度 賛助会員名簿(敬称略)

【個人会員】

藍沢悌三郎、相田捷三、会田恵、相羽俊明、青柳誠、秋山政人、浅井正子、阿部健博、阿部俊幸、阿部道行、新井礼子、荒川正昭、荒川正寛、安齋久恵、安藤哲也、安中憲一、井浦佐敏、五十嵐茂義、五十嵐務、五十嵐智理、池田愛子、石井法子、池田正友、石上和男、石川久雄、石川由美子、石黒智也、石田賢一、石田由美、石田芳英、石附由美子、石平悠佳、石見武夫、石本敦子、石山邦彦、磯部澄枝、市川俊夫、伊藤和彦、伊藤亨、伊藤寛隆、稲月恵子、稲月原、井上幸直、井上陽子、猪貞子、猪俣路子、今井昭雄、岩崎洋昭、岩田和雄、岩田玲子、岩村紀美夫、植木智志、上田恵理子、上原伸、植村達夫、薄田芳丸、内山聖、浦上修啓、江島貴志、江部俊恵、大國祐子、大島晃、太田昭子、大滝寛、太田隆、大西英子、大淵信隆、大淵峰夫、大湊八郎、大村紘一、大矢直子、小川健次、小熊美智子、小田潤、小野新一郎、加賀節子、片桐憲治、片桐幹雄、勝間修二、勝見秀也、加藤淳一、加藤千栄子、加藤花恵、金沢里美、金内敬太郎、金子貴純、金子よう、樺沢禮子、神蔵勝雄、鴨居桂子、柄沢昌子、川瀬雅雄、神田郁美、菊地正明、木村光子、木村裕美、木村有紀、木村陽一、久我三栄、葛野イツ子、久住由和、黒崎裕人、下条文武、小池シヅエ、小坂正一、小島美春、小林一利、小林幸一、小林進一郎、小林孝、小山歌子、近寅彦、今野紗奈絵、昆信芳、斉藤京子、斉藤啓行、酒井一夫、坂井克一郎、酒井信治、坂井宏子、寒河江一雄、寒河江豊、坂上りい子、佐久間智子、櫻井明子、佐々木繁、佐々木隆、佐藤幸示、佐藤眞吉、佐藤崇、佐藤斌、佐藤富雄、佐藤信夫、佐藤藤雄、佐藤裕美、設楽修、品田英光、篠川和夫、篠田和博、清水雅昭、下村宣子、白井亜紀、神保和男、新保信夫、須貝欽也、杉本智子、須佐守、鈴木昭、鈴木一恵、鈴木幸雄、鈴木知宏、須田真奈、須藤祐悦、清田義和、清野晴美、関田浩之、関矢和美、関谷啓太郎、瀬戸民枝、惣角功、園田裕久、田井英子、高井昭三、高德幸男、高野勝、高野美奈子、高橋公太、高橋恒雄、高宮治生、竹内一成、竹田啓治、竹田さち江、田中勝治、田中新一郎、田中正和、田中政則、棚橋成一、谷川隆朔、田宮保晴、田村正一、田村希、田村芳昭、塚田和子、梅野光雄、堤清次、鶴若好彦、遠山重夫、富樫菜穂子、外川八洲雄、常角崇宏、富井剛平、富永泰子、豊嶋二郎、内藤晴子、長尾政之助、中川邦夫、中川悟、長沢和彦、長沢京子、長沢忠雄、中島徹、永瀬吉彦、中杖智子、中富豊、永野薫、永野多美雄、中浜千鶴、中村永大、中村幸一、中村勉、中村敏子、中山久雄、中山秀美、中村義則、南雲佳代子、梨本智子、成田一衛、難波彰司、難波秀道、新田はる香、西慎一、西村義孝、西脇京子、二宮和郎、橋本薫、長谷川輝行、長谷川直子、長谷川二三夫、羽田野正夫、初野弥一、羽入修吾、馬場光雄、速水梅子、原ヨシ子、平石信一郎、笛田孝明、深川光俊、藤森仁行、星野眞澄、星山圭紘、本多孝、真島和徳、松田花織、松田隆夫、松田英伸、松元寿、松本和雄、松元直子、丸山浩一、丸山仁、丸山敏男、丸山優美、三浦智子、三浦則子、光永喜衛、皆川洋子、皆川陽子、宮川創平、宮下忠雄、宮下晴美、武藤謙介、武藤昭三、目黒里江子、初井彩、百都政弘、森下英夫、森平仁、森由美、諸原誠、八百枝浩、矢澤美義、柳京三、矢野繁、八幡健二、山崎理、山崎英俊、山崎雅司、山田キヨ、山田洋子、山本栄子、山本和男、山本正、山本正男、湯浅保子、湯本嘉彦、吉川澄雄、吉崎麻友子、吉田和清、吉田達夫、吉田法子、吉田寛子、吉田正嘉、吉田裕子、吉山直樹、若井静子、若林雅、渡邊二夫、渡邊和子、渡辺和仁、渡辺武、渡部透、渡辺誠、渡辺正雄、渡辺勝、渡辺美智子、渡邊守朗、渡部信 ※匿名希望1名

個人会員 308名 計 572,000円

【法人会員／医療機関】

青柳医院、阿賀野病院、糸魚川総合病院、西蒲中央病院、江口眼科医院、大森内科医院、下越病院、刈羽郡総合病院、北日本脳外科病院、木戸病院、黒川病院、甲田内科クリニック、佐渡総合病院、三交病院、三条総合病院、三条病院、上越総合病院、信楽園病院、末広橋病院、せき眼科医院、立川メディカルセンター、知命堂病院、町宮診療所みかわ、富永草野病院、豊栄病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院、中条病院、南部郷厚生病院、新潟こばり病院、新潟脳外科病院、新潟南病院、新潟臨港病院、新潟労災病院、松田眼科医院、村上記念病院、村上総合病院

法人会員(医療機関) 37団体 計 560,000円

【法人会員／企業・団体】

(株)アド・メディック、池田医療電機、糸魚川市医師会、糸魚川病院腎友会、越後吉田ライオンズクラブ、大森八千代会、小千谷腎友会、小千谷ライオンズクラブ、下越病院腎友会、刈羽ライオンズクラブ、健康医学予防協会、五泉市東蒲原郡医師会、佐渡腎友会、三条市医師会、山東医院腎友会、山北徳有会、新発田北蒲原医師会、上越医師会、津南ライオンズクラブ、十日町市中魚沼郡医師会、十日町腎友会、直江津ロータリークラブ、長岡蒼栄ライオンズクラブ、ながおか医療生活協同組合、長岡市医師会、長岡悠久ライオンズクラブ、長岡ライオンズクラブ、新潟医療技術専門学校、新潟県医師会、新潟県栄養士会、新潟県介護老人保健施設協会、新潟県看護協会、新潟県健康管理協会、新潟県歯科医師会、新潟県腎臓病患者友の会、新潟県成人病予防協会、新潟県接骨師会、新潟県放射線技師会、新潟県臨床検査技師会、新潟県労働衛生医学協会、新潟青陵大学、新潟セントラルライオンズクラブ、新潟大学大学院腎臓泌尿器病態学分野、新津荻川ライオンズクラブ、ニプロ(株)新潟支店、富士クソー(株)、扶桑薬品工業(株)、源川医科器械(株)、南魚沼腎友会、村上市岩船郡医師会、村上腎友会、弥彦ライオンズクラブ

法人会員(企業・団体) 52団体 計 562,000円

寄付金 14件 計 1,025,569円

※中外製薬(株)様より500,000円、ノバルティスファーマ(株)様より500,000円の寄付金をいただきました。

財団法人 新潟県臓器移植推進財団

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 新潟県庁12F 健康対策課内 TEL・FAX:025-283-4880
 ホームページ <http://www.niigata-ot.net>



Relay for you

一臓器移植はあなたの意思をつなぎます一

5号

新潟県臓器移植推進財団だより

平成20年8月発行 財団法人 新潟県臓器移植推進財団

ホームページ <http://www.niigata-ot.net>



当財団 評議員
西 慎一(新潟大学医歯学総合病院血液浄化療法部 准教授)

腎臓内科として 腎移植に思うこと

新潟大学医歯学総合病院の腎臓内科医として、腎移植治療に参加させていただき10年以上になります。当院では、生体腎移植と献腎移植を合わせ、年間25例前後の腎移植が行われており、従って、既に200例以上の腎移植患者さんとお会いしたことになります。多くの方が、透析から腎移植を受けられますので、透析室でまずお会いし、腎移植後は入院病棟でお顔を拝見することになります。皆さんが、移植後は心身ともに元気になることにいつも感心しております。移植医療のすばらしさはここにあると思います。

2006年度の全国統計では、本邦で約1,100例の腎移植が行われました。日本の国民人口が約1億2,800万人であり、新潟県民人口が約250万人であるとする、50分の1の腎移植数があれば平均的となります。その点では、新潟県の腎移植数は全国平均か、それを少し上回る程度となります。これを聞いて、平均的かと落胆する方がいるかもしれませんが、がっかりしない

でいただきたいと思います。

日本では、年間20例以上の腎移植が行われている都道府県数は20弱しかありません。つまり、腎移植は東京、名古屋、大阪などの大都市圏で集中して行われ、県によってはほとんど行われていないという状況があるのです。移植医療には地域格差があるといってもいいと思います。これは、腎移植希望の患者さん方にとって不幸なことであると思います。安心して、かつ地元で腎移植医療が受けられる環境が新潟県にはあります。このような腎移植医療の環境が確立している背景には、新潟大学の泌尿器科医、看護師の方々、移植コーディネーターの方の努力とともに、新潟県臓器移植推進財団を支えてくださっている多くの方々のおかげがあることと思います。

私も腎臓内科医も、ぜひとも新潟県の腎移植医療の推進に役立ちたいと考えております。また、腎移植医療を勉強できる環境にあることを、ありがたく思っております。

臓器移植について考えませんか？

臓器移植フォーラム2008 in上越

参加費は無料です。ぜひご参加ください。

日時 10月5日(日) 13:30～16:00
会場 新潟県立看護大学(上越市新南町240番地)

- 内容**
- 移植体験者発表
 - 特別講演「提供家族の想い」
講師：千葉太玄 氏
 - アトラクション
 - 移植専門医などによるトークステージ

【主催】 新潟県、新潟県臓器移植推進財団
 新潟県腎臓病患者友の会

PC・携帯電話からも、あなたの意思を登録できます

(社)日本臓器移植ネットワークのホームページで、臓器提供に関する意思を登録できるようになりました。



<http://www.jotnw.or.jp>

<http://www.jotnw.or.jp/m>

確実な提供意思の確認のため、ぜひ登録をお願いします。

グリーンバッチ運動にご協力ください



グリーンバッチのモチーフは絡み合った枝。ギフトオブライフ(命の贈り物)によって結ばれたドナーとレシピエントという、二つの生命のつながりを表しています。バッチが多くの人々の胸に付けられることで臓器移植に対する理解が広がっていくことを願っています。バッチは100円以上のご寄付をくださった方へお渡ししています。関心を持たれた方は当財団までお問い合わせください。